

阿部初



富士フィルム・スタジオアリス女子 〈最終日〉
 ◇7日◇埼玉・石坂GC (6555ヤード、パー72) ◇賞金総額1億円(優勝1800万円) ◇晴れ、21・2度、南の風1・9級
 ◇観衆4933人

終盤の劇的な逆転で、阿部未悠(23)ミネベアミツミ)がツアー初優勝を飾った。首位から出て8バーディー、1ボギーの65と7つ伸ばし、通算15アンダー、201はともに大会コース新記録。00年度生まれの「ミレニアム世代」では、古江彩佳、西村優菜、吉田優利に次いで4人目の優勝となった。

自称「ネーチャー系カメラマン」

阿部 未悠 **◆生まれ** 2000年(平成12)9月27日、北海道恵庭市生まれ。
◆競技歴 10歳から始める。福岡・第一学院高で17年九州高校選手権新人戦優勝。卒業後の19年北海道女子アマ優勝。21年6月、2度目のプロテストで合格。トップ10入りは22、23年に各5度。前週末までは昨年の今大会などの2位が最高。
◆写真好き 自称「ネーチャー系カメラマン」。主に地元北海道で野鳥や野生動物を撮影。希少動物を撮影できる場所も知るが「教えられません」という本格派。男子ツアー最終戦を「メディア」として撮影した経験もあり。ただゴルフも研究熱心だけに「撮影を忘れて見とれちゃう」。現在ほしいのは単焦点レンズ。
◆武者修行 今季開幕前に共通の知人を通じ、大ファンのプロ野球ソフトバンク甲斐拓也捕手らの自主トレに参加。「ゴルフを楽しむ」という原点を教わる。
◆家族 父敏春さん(54)母早苗さん(50)。
◆身長 155センチ。



3番、ティーショットを放つ阿部。ツアー初優勝を果たした阿部はトロフィーを手に笑顔を見せる(ともに撮影・横山健太)

趣味高学んだ我慢
 諦めない気持ちで阿部の背中を押した。11番パー4はミスを連発して4オン。7際のボギーパットを残していた。それでも「昔から根拠のない自信があった」という強気な性格でねじ込み、「ナイスボギー」。首位佐久間との差を射撃圏の「2」にとどめると「ここからだぞとエンジンがかかった」。12番パー5で第3打を2打につけて伸ばすと、14番からは2オンにシヨットがさえ、4連続バーディーで、17番でついに単独首位浮上。18番のピンチをバーディーでしのいで初優勝し、表彰式では涙があふれた。
 「3日間、自分のゴルフに集中できて楽しかった。『楽しい』と思って優勝争いしたのが初めて」。バーディー発進したが、同組の佐久間がその上を行くイーグル。終始、追いかける展開だった。一時は1つ前の組で回る蛭田ら2人にも抜かれて4位に後退。それでも出身の北海道で培い、身の上とする「諦めない気持ち」が、再浮上させた。
 趣味はカメラで、時間を潰っては北海道で野生の鳥や動物を撮影する。幼少期から知り合いの写真愛好家と北海道の森に出かけた

8勝 古江彩佳
6勝 西村優菜
3勝 吉田優利

「ミレニアム世代」4人目!! 23歳

◇富士フィルム・スタジオアリス女子◇ ☆はアマ

順位	選手名	通算	1R	2R	最終賞金・万円	通算ポイント
1	阿部 未悠	201	69	67	65	1800.0
2	佐久間朱莉	202	67	69	66	900.0
3	蛭田みづ	204	71	66	67	650.0
4	山下美夢	204	69	68	67	650.0
5	山下美夢	207	70	69	68	500.0
6	吉本ひかる	209	69	70	70	356.7
7	藤田さき	209	71	66	72	356.7
8	藤田さき	210	69	72	69	214.0
9	藤岡 果恋	210	70	70	70	214.0
10	上野井 桃	210	67	69	74	214.0
11	上野井 桃	211	71	73	67	167.0
12	竹本 麗	211	71	70	73	167.0
13	天野 力	211	70	71	70	167.0
14	板谷 心	211	72	69	70	167.0
15	板谷 心	212	73	69	70	132.0
16	岩井 藤	212	71	70	71	132.0
17	岩井 藤	212	72	68	72	132.0
18	新 李	213	75	70	68	101.6
19	新 李	213	75	69	69	101.6
20	本 結	213	71	72	70	101.6
21	本 結	213	70	71	72	101.6
22	尾関 彩	213	71	70	72	101.6
23	新海 美	214	71	72	71	92.0
24	新海 美	214	72	70	72	92.0
25	川 せ	214	70	70	74	92.0
26	川 せ	215	77	66	72	-
27	高橋 元	215	70	72	73	86.0
28	高橋 元	215	68	74	73	86.0
29	宮田 成	215	72	70	73	86.0
30	木戸 愛	216	77	69	70	78.0
31	木戸 愛	216	73	73	70	78.0
32	鬼頭 泰	216	72	73	71	78.0
33	鬼頭 泰	216	72	73	71	78.0
34	岡地 絵	216	73	68	75	78.0
35	岡地 絵	217	70	76	71	69.0
36	菊地 絵	217	74	72	71	69.0
37	大里 桃	217	73	72	72	69.0
38	白井 香	217	73	69	75	69.0
39	白井 香	218	72	74	72	63.0
40	井本 詩	218	68	73	77	63.0
41	井本 詩	219	72	74	73	58.0
42	桑 志	219	74	71	74	58.0
43	桑 志	219	73	72	74	58.0
44	鈴木 愛	220	69	76	75	53.0
45	佐藤 心	220	70	75	75	53.0
46	小林 夢	221	71	74	76	47.0
47	小瀬 水	221	75	70	76	47.0
48	神谷 水	221	74	70	77	47.0
49	エミ	221	73	71	77	47.0

泣きながらプレー
 逆転許し2位 佐久間
 ●完全優勝目前で逆転された佐久間は、最後は泣きながらプレーした。1番で15際のパットを決めてイーグル発進。第1ラウンドからの首位を守り続けたが、17番で初めて2位に後退。18番のバーパットは、阿部が先に決め、66を出しながら初優勝が消えた。「すごいゴルフができた。勝てなかったのは実力不足。それでも「笑顔でたたえたい」と、阿部と抱き合った。「師匠の尾崎将司に」次いで勝ちますと報告する」と話した。(写真)

氷点下でも風でも
 中学入学の際に、ゴルフ歴2年、当時ベスト80台の中盤にして「将来、プロになる」。持ち前の根拠のない自信から練習環境を求めて福岡にゴルフ留学した。母早苗さん(50)は「マイナス何度でも風でも外で練習していた」という熱心な姿勢に、夫と別々で暮らすことになるが同行した。だからこそ母も「涙が出ま

次につながる3位
 一時首位も 蛭田
 ●1差の4位から出た蛭田が、一時は首位に並んだが、昨年8月以来の通算2勝目はならなかった。8番から3連続バーディー。さらに12番でも伸ばし、その時点で首位の佐久間に追いついた。だが残る6ホールは全てパーと12アンダーの3打差3位。3日間通してショットは良かったので次につながる」と前を向いた。

「感動。阿部は「初優勝もしていないけど、今年この目標は複数回優勝だった」と明かした。根拠のない自信が次の1勝へと導く日は近そうだ。「高田文太」

「(佐久間とともに)第1ラウンドから首位もバーディーなく2つ落として9位)「うまく自分の流れにできない1日だった。流れをつかむため、とりあえず(バーディー)1個と頑張っていただけ難しかった」